#Bの&助 ***へっぱく わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025 試 合 結 果 速 報

/\。26 バレーボール

種 別 少年男子 会 場 近江ハ	幡市立運動公園体育館
令和 7 年 9 月 30 日 火 喔	第 3 日目
準決勝	第 4 数 合
◎試合結果	
<u>勝</u> 利チーム 25	
熊本県 3 < 23 - 25	 2 福岡県
27 - 25 15 - 11	
設定時刻(プロ記載時刻) 14 時 50 分 15 時 00 分	終了時刻 17 時 00 分
【審判員】	
主 審: 高 木 智 記 <u>剧 審: 中 村 優</u> 記錄員: 小森 亜 由 美 A·S: 寺 田 伶	A·S:
【次の試合】(記入無き場合は上記試合が最終)	_
設定時刻(プロ記載時刻)、 関始予定時刻 組	合也 VS

Na	送信時間	送信者	競技(劑)委員長	配與報道主任	記錄者
26	(भः उंग	神村	(\$11)	2 里里	田中
	17142	睁 _n			

受信時間	記錄本部.
•	
	•

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く

国スポ·障スポ 2025 戦 評 用 紙

審判副委員長

•	種別	ij	少年	男子		会 ;	易近	江八幡	市立逐	動	公園体	育館
	令和	7 . 4	5 9	月	30 =	3	火	曜日		第	3	日日
		準	決勝	· -		· [C	コート		第	4	試合
©)武合結果	₹			25] -	23	_	٠			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	利チーム 熊 オ	県	3] {	23] -	25		2	<u> </u>	福岡	県
•					27 15		25 11		<i>)</i> ' '	•	√₀3 — →	
I	審判員】						•			·		N —)!
	主 審:	高才	智		刻 審.	中村		<u> </u>				•
	記録員:	小森	亜由	美.	A·S:	寺「	日 怜	<u>A</u>	·s:			

【戦 評】

· 記載者: 大依 孝至

第1セット、福岡県が先行。熊本県は一ノ瀬、岩下のスパイクで追い上げ終盤に逆転。最後は一ノ瀬がパックアタックを決め、熊本県が25-23で先取する。第2セット、福岡県が先行。中盤もプロックがさえリードを保ち、最後は比嘉がスパイクを決め福岡県が25-17でセットを取り返す。第3セット、福岡県が先行。熊本県は一ノ瀬、西原のスパイクやサービスエースで食い下がるが、福岡県はリベロ小田の好守で熊本県の猛攻をしのぐ。最後は糸瀬がスパイクを決め福岡県が25-23でセットを運取する。第4セット、福岡県が先行するが、熊本県が一ノ瀬、岩下のスパイクと西原のブロックで追い付く。福岡県も矢島のブロード攻撃や比惠のスパイクでデュースまで粘るが最後は大石がスパイクを決め、熊本県が27-25でセットを取り返しフルセットに持ち込む。第5セット、一進一退の攻防が続き8-7でコートチェンジした後、熊本県が岩下、一ノ瀬のスパイクで徐々に突き放し、最後はブロックを決め福岡県を振り切った。熊本県はセットカウント3-2でフルセットの熟取を制した。

^{湖図の優勢 未来へっなく} わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025 試合 結果速報

//。2。 バレーボール

種 別 少年男子 会 場 近江八幡市立運動公園体育館
令和 7 年 9 月 30 日 火 曜日 第 3 月目
準決勝 D コート 第 4 試合
◎試合結果 (25 - 18)
勝利チーム 25 - 20
京都府 3 〈 25 - 18 〉 0 秋田県
設定時刻(プロ記載時刻) 14 時 50 分
【審判員】
主 審: 藤木 博文 <u>剧 審: 津田 直幸</u> 記録員: 井上 実智彦 A·S. 矢野 博豊 A·S:
【次の試合】(記入無き場合は上記試合が最終)
設定時刻(プロ記報時刻) 関始予定時刻 組合せ 、

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記錄報道主任	記録者
20	16:48	上面.	(4 11)	水野	田中

受信時間 記錄本部

/6:153 時田

カたSHIGA輝く

国スポ・障スポ 2025 戦 延 田 紙

金木.沙代

少年男子 近江八幡市立運動公園体育館 別 9 月 30 日 火 令和 曜日 88 準決勝 合箔 **②試合結果** 25 京都府 秋田県 3. /V e 32 【審判員】 主 審: 藤木 博文 副 審: 津田 記録員: 井上 実智彦 A·S: 矢野 博 豊 A・S: 【戦 評】 記載者: 鈴木 紗織 序盤、京都府は両エースを軸に多彩なコンビバレーを展開し、テンポよく得点を重ねリードを広

序盤、京都府は両エースを軸に多彩なコンピバレーを展開し、テンポよく得点を置ねり一ドを広げる。中盤、秋田県もミドル攻撃を効果的に絡め、さらにサービスエースで15-19まで追い上げる粘りを見せた。しかし終盤は、京都府の粘り強いレシーブからの多彩な攻撃が次々と決まり京都府が第1セットを25-18で先取。第2セットは序盤から一進一退の攻防が続き、両チーム共に白熱したラリーを展開。中盤、京都府はブロックとスパイクで5連続得点を挙げ、14-12とリードを奪う。追いつきたい秋田県は両エースを中心に反撃を試みるが、京都府の多彩な攻撃に押し切られ25-20で京都府がこのセットも連取した。後がない第3セット、秋田県は両エースを中心に反撃するも、京都府の固いブロックと多彩な攻撃に得点を重ねられ終始リードを許した。最後まで粘ったが、25-18で京都府がストレート勝ちし、決勝進出を決めた。